

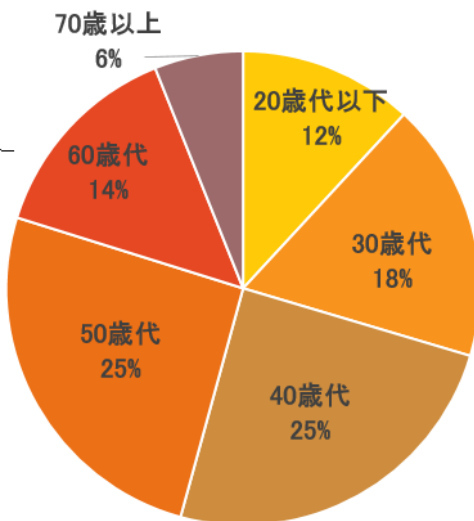
(1) 市政アンケートモニター「くるモニ」

実施概要

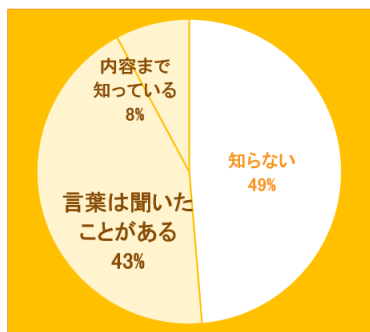
- 調査対象者: 市内在住の満18歳以上の市民から選任したモニター
- 実施方法: インターネット調査
- 実施時期: 令和6年11月8日～11月21日
- サンプル数: 599
- 回答数: 446 (74.5%)

■ 性別

	人	(%)
男	203	45.5
女	242	54.3
( )	1	0.2
合計	446	100



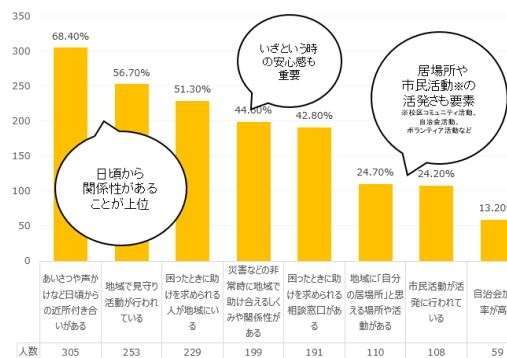
「地域共生社会」の認知度



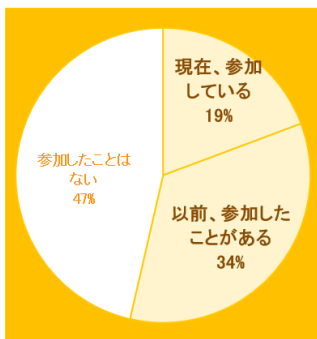
「知っている」「聞いたことがある」が51% (229人)。

H30 (2018) 年調査時の49.2%から微増。(1.8%増)

「支え合いや助け合いが充実しているまち」とは



地域の活動やボランティア活動などへの参加状況

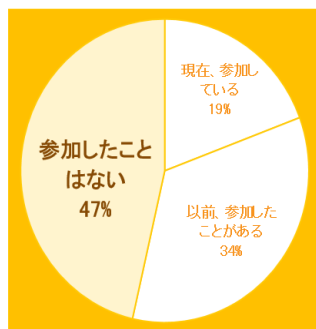


参加したきっかけ

- 第1位 地域や近所の人に誘われた (49.0%)
- 第2位 家族や友人に誘われた (28.5%)
- 第3位 自ら興味を持って (17.6%)

イベント等に参加して興味を持った (14.2%)  
SNS等で興味を持った (10.8%)  
その他、「地域の役員で強制的に」という人や「子ども会がきっかけ」という人もいる

地域の活動やボランティア活動などへの参加状況



参加したことがない理由

- 第1位 時間に余裕がない (54.6%)
- 第2位 きっかけがなかった (49.3%)
- 第3位 一人では参加しづらい (37.2%)
- 第4位 情報を知らない (35.7%)

興味関心がない (9.2%)  
関わりたくない (4.3%)は少数派  
参加したくても、「外出が難しい」「移動手段がない」という声も

- 「地域共生社会」の認知度はほぼ半数です。もっと広く知っていただくための働きかけが必要です。
- 「助け合いや支え合いが充実しているまち」の実現に向けては、日頃からの関係性やいざというときの安心感をつくっていくことが必要であると考えられます。
- 地域の活動やボランティア活動への参加には、身近な人の力が大きく影響しています。きっかけづくりや参加しやすい工夫をすることで、新しい人に参加してもらえる可能性があります。

